

プトラジャヤ市におけるグローバルアグリゲーター事業

日本総研、東芝、日本IBM、清水建設、三井住友銀行

経済産業省「グローバル市場におけるスマートコミュニティ等の事業可能性調査」(2012年度) ②

二酸化炭素排出量60%削減を目指すプトラジャヤ市において、マレーシアのエネルギー・環境技術・水資源省(KeTTHA)の協力を得て、15棟の省庁ビル(パーセルE地区)のエネルギー消費データを収集・分析し、各需要家やエネルギー供給事業者へ情報をフィードバックし、省エネを促進する仕組みの事業可能性を調査する。



数千棟など統計的に有意なレベルまでビル数を増やすことを想定し、ビル間の比較評価により有効的な省エネ・節電の実現を目指す。

また、マレーシア政府や政府関連機関が出資する枠組みを検討し、その枠組みに日本企業が参画することで、マレーシア国内での横展開を目指す。

今回の参加メンバーにより、2011年度にNEDOプロジェクトでレーシアの首都機能都市(プトラジャヤ市)を対象とする「低炭素都市開発のアクションプラン」を策定。

そのリーディング事業が①低炭素都市開発パートナーシップ(LCCP: Low Carbon City Partnership)と、②それを基盤とする政府系ビルでの省エネ、節電を強力に推進するアグリゲーション事業(複数のビルへのBEMS導入とそれらをネットワーク化した集中管理システムの構築)。

サービス提供イメージ

